

第6期千葉市障害福祉計画・第2期千葉市障害児福祉計画の進捗状況

(各年度3月単月分の数値)

サービス名	サービス内容	各年度におけるサービス量の見込量(下段)と実績(上段)								考察	
		(単位)		第2期計画						評価	コメント
				令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		上段:実績 下段:見込	進捗率	上段:実績 下段:見込	進捗率	上段:実績 下段:見込	進捗率	◎: (見込量の150%以上) ○: (見込量の70%以上150%未満) △: (見込量の70%未満)			
(1) 日中活動系サービス											
児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行います。 *第4期から計画事業	利用量 (延人日/月)	15,087	166.7%	15,549	170.0%	9,241	0.0%	◎	発達障害への社会的認知が進んだことに伴い、利用者及び提供事業者の増加が当初の見込みを上回ったためと想定される。	
		利用人数 (実人/月)	9,050	129.9%	2,190	175.6%	1,261	0.0%	◎		
医療型児童発達支援	児童発達支援と治療を行います。 *第4期から計画事業	利用量 (延人日/月)	366	180.3%	422	202.9%	213	0.0%	◎	令和2年10月に開設した障害者基幹相談支援センターや令和4年7月に開設した千葉県医療的ケア児等支援センター等により、ニーズをもつ医療的ケア児等が事業所に繋がるケースが増加していると想定される。	
		利用人数 (実人/月)	203	121.4%	60	139.5%	44	0.0%	○		
放課後等デイサービス	授業の終了後や休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行います。 *第4期から計画事業	利用量 (延人日/月)	24,589	121.3%	26,635	124.2%	22,685	0.0%	○		
		利用人数 (実人/月)	20,274	128.4%	2,574	138.1%	1,972	0.0%	○		
保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障害児以外のクラスの児童との集団生活への適応のための専門的な支援を行います。 *第4期から計画事業	利用量 (延人日/月)	1,185	526.7%	1,747	465.9%	625	0.0%	◎	発達障害への社会的認知が進んだことや保育所等に当該制度が認知されたことに伴い、利用者の増加が当初の見込みを上回ったと想定される。	
		利用人数 (実人/月)	225	209.6%	271	196.4%	230	0.0%	◎		
居宅訪問型児童発達支援	居宅を訪問して児童発達支援を行います。 *第4期から計画事業	利用量 (延人日/月)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	△	計画策定時点では、市内に事業所がなく、推計が困難であったことから左記の計画値を算定した。しかし、事業所の開設は現時点でもないため。なお、対象者が重度の障害児であるため、人材確保や技術的な面から事業者の新規参入が進まないことが想定される。 ※令和3年10月1日時点での全国の事業所数は228ヶ所	
		利用人数 (実人/月)	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	△		

サービス名	サービス内容	各年度におけるサービス量の見込量（下段）と実績（上段）								考察	
				第2期計画						評価	コメント
				令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		(単位)		上段：実績 下段：見込	進捗率	上段：実績 下段：見込	進捗率	上段：実績 下段：見込	進捗率	◎：（見込量の150%以上） ○：（見込量の70%以上150%未満） △：（見込量の70%未満）	
(2) 居住系サービス											
福祉型障害児入所支援	施設に入所する障害児に、夜間や休日、入浴、排泄、食事の介護等を行います。 *第4期から計画事業	利用人数	(実人/月)	38	108.6%	39	111.4%	35	0.0%	○	
医療型障害児入所支援	施設に入所する障害児に、夜間や休日、入浴、排泄、食事の介護等を行い、あわせて医療も提供します。 *第4期から計画事業	利用人数	(実人/月)	21	75.0%	18	64.3%	28	0.0%	△	計画策定時点での利用者の措置解除等によって、利用者が当初の見込みを下回ったため。
(3) 相談支援											
障害児相談支援	支給決定を受けた利用者が障害児通所支援を適切に利用することができるよう、障害児支援利用計画を作成するとともに、当該計画に基づく障害児通所支援の提供が確保されるよう、障害児通所支援事業者等との連絡調整等を行います。 *第4期から計画事業	利用人数	(実人/月)	693	81.0%	678	64.4%	1,295	0.0%	△	当初の見込みより、セルフプランの作成率が増加したことから、減少していると想定される。なお、セルフプラン率が上昇しているのは、障害者基幹相談支援センターのセルフプランに対する支援等が充実してきたこと等の影響によると思われる。
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置	障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等に対する支援が適切に行える人材の配置を行います。 *第4期から計画事業	配置人数		6	0.0%	6	100.0%	7	0.0%	○	
				5		6					